

八王子市リユースモデル事業 報告書

本報告書は3月24日時点のものであり、4月6日まで実施しているイベントの結果次第で内容に修正があり得る。

1. リユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

市民・事業者との協働によるリユース促進を目的として、平成25年度より実施している「大学リユース市(以下、リユース市)」を中央大学、リユースショップ、関連自治体(多摩市・日野市)と連携のもと実施した。

リユース市とは大学を卒業する学生が不要となった家具等を、行政の支援のもと、無償で新入生に提供するイベントであり、中央大学 FLP 環境プログラム・佐々木創ゼミ(以下、佐々木ゼミ)の学生が主体となり、中央大学の卒業生に向けてリユース品の提供を呼びかけるとともに、家具等の大型のリユース品については、八王子市が回収を行った。

回収したリユース品は、3月26日から4月6日にかけて、イベント「リユース市」にて新入生への提供を実施する。さらにリユース品の一部をリユースショップに売却し、最終的に余ったリユース品については、八王子市が処理を行う。

また、八王子市周辺のリユースショップを紹介し、市民にリユースショップの利用を促す「リユースショップ紹介冊子(以下、リユース冊子)」を佐々木ゼミの学生と共同で作成し、大学や市のイベント等で配布した。

(1) 対象品目

卒業生から引き取るリユース品は、衣類、書籍、ゲーム、CD・DVD、収納ケース、カラーボックス、扇風機、テレビ台、机、テーブル、椅子、ソファ、スタンドミラー、棚、楽器(ギター・ベース)、小型家電などとした。なお、扇風機、小型家電に関しては、製造年が5年以内のものとした。

引き取りにあたっては、学生が「回収物品点検表」(別紙1参照)をもとにチェックを行い、引き取りの可否を判断した。

(2) 取り組みの概要

リユース市開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは表1のとおりである。

事前準備では、主に卒業生を対象に広報活動を行い、収集と持ち込みにより、計145点のリユース品を集めた。リユース市は、3月26日～4月6日に開催し、新入生に無償でリユース品の引き渡しを行う。

また、3月23日にはリユースショップに協力を依頼し、収集したリユース品について事前に査定を行った。

今後はこの査定結果とリユース市での引き取り状況を踏まえ、「リユースショップで売れるが引き取りがなかったもの」や「売れないが引き取りがあったもの」等の学生のニーズの差を分析し、リユース市のような取り組みをどのような形で活用していくべきかを検討していきたい。

リユース市の実施後は、残ったリユース品の処理を行うとともに、効果測定、来場者アンケートの集計等を行う予定である。

表1.リユース市開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備	・広報活動(学園祭での出展、ちらしのポスティング、ウェブページ、ツイッターでの発信など) ・関係者との調整などの事前準備
12月～3月	・リユース品の持ち込み品の受付を実施(計9回) 全学生を対象に実施
1月～3月	・リユース品の収集の実施(計8回) 中央大学学生寮(以下、C's)及び大学周辺の住まいが対象
3月23日(月)	・リユース事業者による回収品の査定 (次年度以降の持続的な取り組みに向けてのデータ収集)
3月26日(木) ～4月6日(月)	・リユース市の実施 (参加者にはアンケート調査を実施予定)
効果測定・成果取りまとめ	・残ったリユース品の処理 ・効果測定、来場者アンケートの集計等

(3) 役割分担

事業の実施に当たって、八王子市と中央大学で協定書を作成し、表2のとおり役割分担を行った。なお、広報等については双方で積極的に実施していくこととした。

表 2. リユース市実施にあたっての役割分担

主体	内容
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> ・家具等の運搬についての支援。 ・リユース市開催後の家具等の残余品についての処理を支援。
中央大学	<ul style="list-style-type: none"> ・家具等の提供についての受付。 ・提供を受けた家具等の保管。 ・リユース市を開催し、提供を受けた使用済家具等を新入生に引き渡す。 ・家具等のうち、売り払い可能なものの一部を、リユースショップに売却し、リユース市の運営資金に充当。

1.2 広報・PR等の方法

チラシは計 4,800 枚作成し(別紙 2 参照)、学内での配布・掲示や C's へのポスティング、リユース市運営ボランティアの募集などで活用した。また、10 月 31 日、11 月 2 日の第 48 回中央大学白門祭(以下、白門祭)では、リユース市を宣伝するためのブースを出展し、昨年の取り組みの紹介も行った。

加えて、ウェブページやツイッターでの情報発信も継続的に行った。

表 3. 作成したチラシの内容と枚数

配布時期	内容	枚数
学園祭 (10 月 31 日、11 月 2 日)	新入生への物品提供案内	300 枚
	卒業生への物品引き取り案内	300 枚
	ボランティア募集	300 枚
第 1 回ポスティング	卒業生への物品引き取り案内	900 枚
第 2 回ポスティング	卒業生への物品引き取り案内	1,000 枚
リユース市	新入生への物品提供案内	2,000 枚
合計		4,800 枚

表 4. 広報・PR等の実施状況

時期	周知方法	内容	詳細
10月14日	プレスリリース	中央大学広報室	環境省モデル事業採択
10月15日	プレスリリース	八王子市	環境省モデル事業採択
10月17日	テレビ放送	J:COM(ケーブルテレビ)	環境省モデル事業採択
10月31日 11月2日	イベント	白門祭	・チラシ配布 ・スライド上映 ・アンケート調査 ・ボランティア募集
11月末	イベント	推薦合格者お部屋相談会	チラシ配布
12月1日	広報掲載	「広報はちおうじ」 平成26年12月1日号	
12月1日	HP掲載	ChuoOnline	
12月中旬 ～下旬	チラシポスティング (第1回)	対象：C's 約900戸	卒業生への物品引き取り案内
12月22日	HP掲載	中央大学FLP	卒業生への物品引き取り案内
12月24日	HP掲載	中央大学経済学部	卒業生への物品引き取り案内
12月末	学内周知	昼休み、授業終了後の教室などでチラシ配布	
12月末	ポスター掲示	学内掲示板	
1月下旬～ 2月上旬	チラシポスティング (第2回)	対象：C's 約900戸	卒業生への物品引き取り案内
1月下旬～ 2月上旬	ポスター掲示	C's 及び大学周辺の飲食店等	卒業生への物品引き取り案内
2月7日	イベント	八王子市 消費生活フェスティバル	・リユースショップ紹介冊子配布 ・アンケート調査
3月	ポスター掲示	学内掲示板等	新生への物品提供案内
3月16日	プレスリリース	八王子市	リユース市開催

2. モデル事業の利用状況・効果について

2.1 回収結果

回収したリユース品は計145点(32件)で総重量は約950kgであった。また、仮に回収物品をすべて処分した場合、約60,000円の費用がかかる。

回収物品の内訳は図1のとおりで、「棚・引き出し等」が最も多く、「書籍」など対象品目の一部は提供されなかった。回収時に、リユース品提供者に実施したアンケートでは「物品をこの取り組みに提供しなかった場合の処理方法」として“廃棄する”が66%と最も多く、粗大ごみの発生抑制に大きく寄与した。

また、今年度から回収範囲を多摩市・日野市にも広げ、日野市から 21 点(6 件)の回収を行った。

図 1. 回収物品の内訳(N=145)

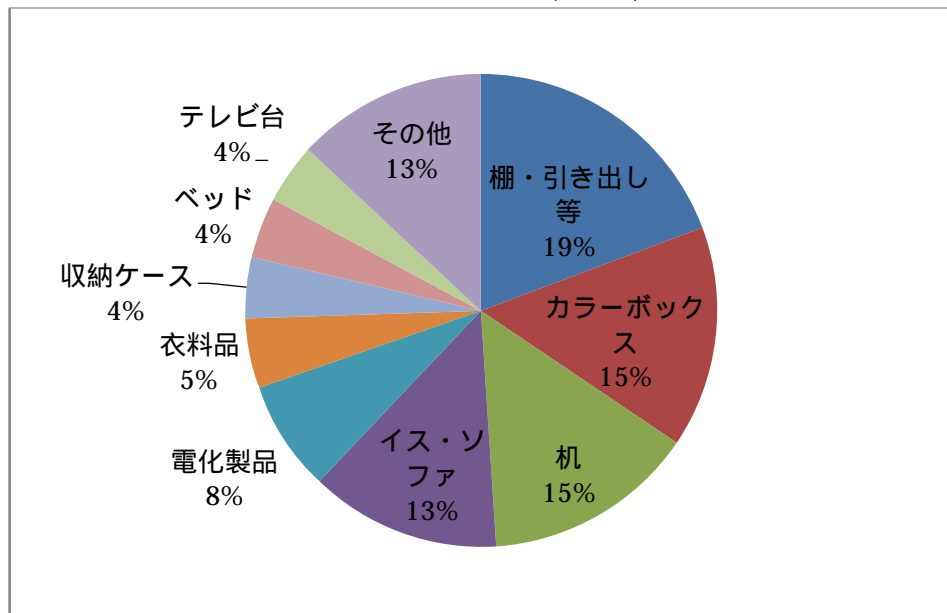
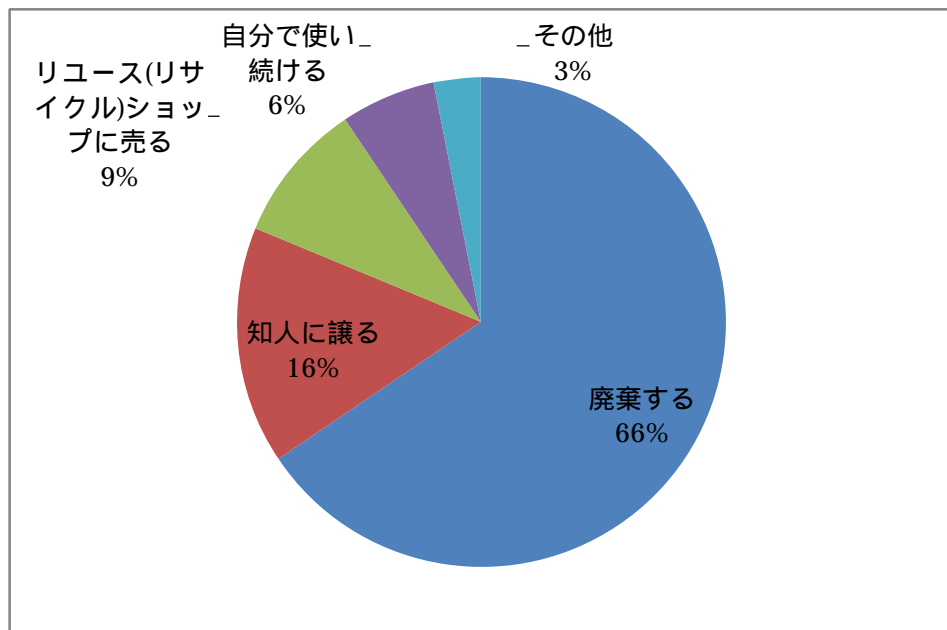


図 2. 物品をリユース市に提供しなかった場合の処理方法(N=32)



2.2 査定結果

回収したリユース品の価値をはかるため、日本リユース業協会より紹介を受けた「株式会社トレジャー・ファクトリー」に依頼し査定を行った。

査定の結果、売り払った場合の合計金額は 19,400 円で、最高価格は本棚の 1,500 円であった。また、“取り扱えない”や“状態不良”などの理由から引取不可の品物が 6.9%(10 点)あったが、回収時に厳密な点検を行ったこともあり、残りの 93.1%(135 点)については有価又は無償での引き取りが可能であった。

品物別にみると、平均引取単価が最も高いのは「棚・引き出し等」の257円であった。こちらは引取不可になるものも少なく、回収品の対象としては適していたと考えられる。

また、「テレビ台」と「衣料品」については、数は多くなかったもののすべてに値段がついた。

一方、「収納ケース」や「電化製品」は、平均引取単価も低く、新入生の引き取りがなかった場合、残余品として処分する可能性が高いため、今後も回収対象とするべきか検討が必要である。

表.5 リユース品査定結果(N=145)

合計金額	最高価格	引取不可能品(無償引取除く)
¥19,400	¥1,500(本棚)	10点

図3. 価格別回収品点数(N=145)

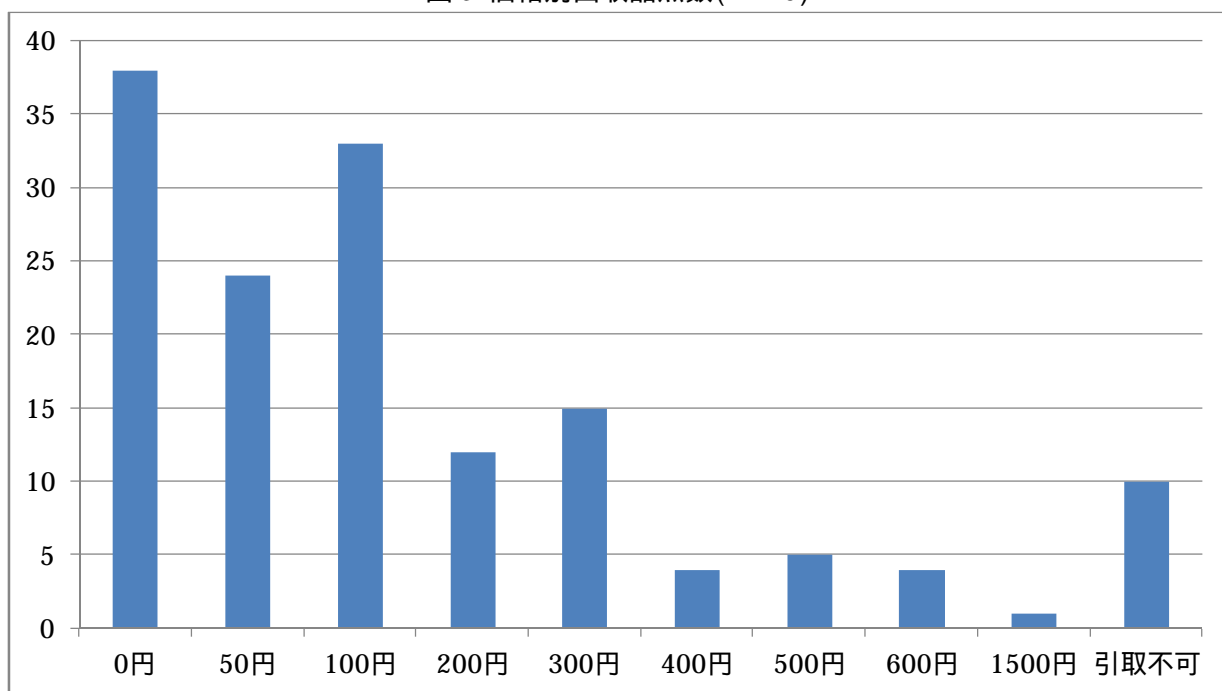


表6. 品目別平均引取単価と引取不可率(無償引取含む) (N=145)

品目	平均引取単価(¥)	引取不可率(%)	点数
棚・引き出し等	257	17.86	28
机	233	33.33	21
ベッド	117	66.67	6
イス・ソファ	113	31.58	19
カラーボックス	80	31.82	22
テレビ台	75	0.00	6
衣料品	71	0.00	7
電化製品	45	54.55	11
収納ケース	33	66.67	6
その他	55	42.11	19

2.3 リユース市の内容 取り組み終了後報告

(分析内容)

- ・参加者数
- ・引き取られた品数
- ・リユース率(引き取られた品数/総数×100)
- ・引き取られた品数の重量(処理した場合の費用を計算する)
- ・査定結果との相関(引き取り状況)
- ・残余品処分費
- ・当日アンケート結果(今後扱ってほしい品物、今後取り組みを希望するか等)

2.4 リユース冊子について

リユース市の開催と並行して、八王子市周辺のリユースショップを紹介し、市民にリユースショップの利用を促すリユース冊子を佐々木創ゼミの学生と共同で作成した(10,000部)。

リユース冊子には、日本リユース業協会に紹介して頂いた会員企業 24 店舗を掲載し、あわせて地域のリユースショップ紹介のために別紙として「八王子市リユースショップ店舗一覧表」も作成した。(「八王子市エコショップ認定店¹」から6店舗を掲載している。)

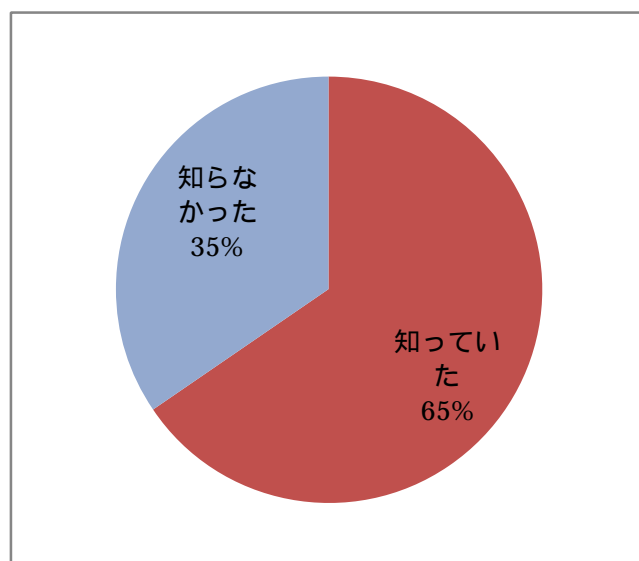
リユース冊子は、下記のとおりイベントでの啓発や市民課窓口等での転出入の対応時、市清掃工場への一般持込みの受付の際などに活用している。

また、アンケート結果からリユースショップの利用等について効果的に啓発を行うことができたと思われる。

表7. リユース冊子活用状況

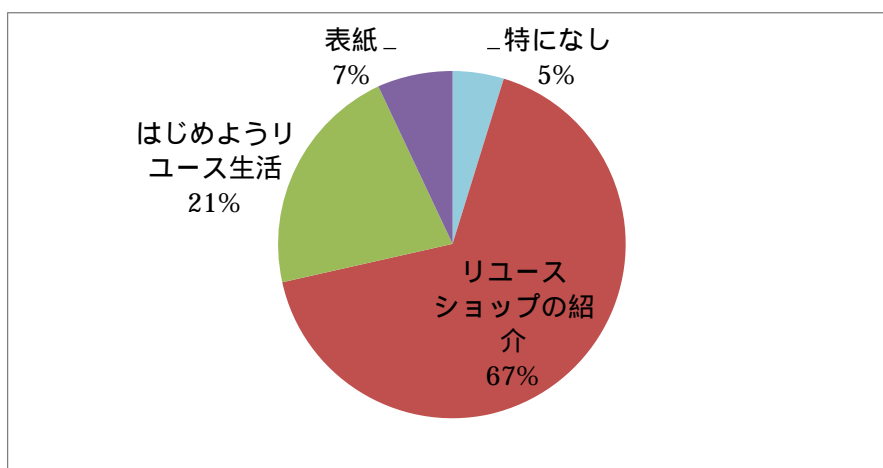
内容	部数
市施設窓口等	1,250
イベント	160
他大学への配布	2,000

図4. 市内にリユースショップがあることを知っていたか？(N=160)



¹ <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/5797/5965/index.html>

図 5. リユース冊子の中で一番役に立ったページはどれか？ (N=160)



3. モデル事業の事業採算性について

リユース市の開催に要した経費は概算で 154,304 円であった。

また、リユース市と並行して作成した冊子の作成費用は 478,440 円であった。

表 8. リユース市開催経費

支出合計	¥154,304		
広報宣伝費	¥28,016	リユース市広報チラシ	¥28,016
イベント運営費	¥126,288	イベント景品代(エコバッグ 200 枚、エコメモノート 300 冊)	¥80,568
		PR用のぼり・立看板等製作費(のぼり旗 5 個、立看板 1 枚)	¥45,720
		配送費(配送委託、キャリーカート)	未定
歳入合計	未定		
リユース品売却益	未定		未定
配送手数料収入	未定		未定
募金	未定		未定

表 9. リユース冊子作成経費

支出合計	¥478,440	リユースショップ紹介冊子作成費(10,000 部)
------	----------	---------------------------

4 . モデル事業の成果

4.1 ごみの減量効果

- ・ごみとして廃棄される可能性の高かった物品をリユース品として回収し、再使用を促すことができた。

4.2 市民への啓発

- ・学園都市である八王子市の課題であった学生に対するごみ減量・リサイクルの啓発について、リユース市を通じて多くの学生に実施することができた。
- ・リユース冊子を通じて、市民に対してリユースという概念を啓発するとともに、リユースショップの紹介による具体的なリユースの方法を案内することができた。

4.3 協働の実現

- ・大学と協働し、学生が卒業に伴って不用になる家具等の再使用のしくみづくりを実施することができた。また、このような取り組みを継続していくために解決すべき課題を整理することができた。
- ・リユースショップと協働し、リユース品の査定やリユースショップの紹介などの連携を行うことができた。また、今後取り組みを実施していくための関係構築ができた。

5 . 課題等

5.1 運営

(1) 収集

今回は行政の支援により収集を行ったが、学生が主体となって収集を行う場合、回収用の車両を用意する必要がある。しかし、大学によっては保険等の点から授業内での車両使用を制限している場合もあるため、今後は事前の受付や点検などを学生が行い、収集については民間事業者が行うなどの連携方法も検討していく必要がある。

(2) 配送

引き取り手である新入生に適切な費用負担を課すと、リユース品を無料で提供しても配送費用により、新品を購入した場合の価格と差がなくなってしまう場合がある。回収物品のリユースを促進するためには、配送費についても自前で車両を用意するか民間事業者と連携を図るなどして負担を減らす方法を検討しなくてはならない。

(3) 保管場所確保

今回は回収物品をイベント当日まで保管しておくために大学内の教室等3部屋を使用した。イベント開催場所までリユース品の大幅な移動が必要であった昨年度よりは改善されたものの、145品の品物を効率的に保管するには大学内で頻繁に移動を行う必要があった。移動にはマンパワーが必要なため、今後取り組みを続けるにあたっては開催場所と保管場所を兼ねることのできるような広いスペースが理想である。そのような場所を確保するためには、大学側に取り組みを理解してもらい、早期から保管場所を確保することが必要である。

5.2 組織

今回のリユース市は佐々木創ゼミの学生のうち2年生4名が主体となって実施した(昨年度は約11名)。実施当初からマンパワー不足が懸念されており、ボランティア募集なども行ったが人員確保には至らなかった。年度ごとに人員が流動的なゼミを主体とする場合、ボランティアの募集方法や運営の役割分担(企画と実行を分けるなど)を検討し、人員確保の方法を検討しなくてはならない。

5.3 費用

上記の収集や配送、また残余品の処分や広報等に係る費用をどのように捻出するかも検討しなくてはならない。

リユース市終了後には、効率的な運営のために周知方法や回収対象とするべき品目などについても検討を行っていききたい。

6. 今後の取り組み方針

- ・上記の課題等を踏まえ、今後取り組みをどのような形で継続していくか大学側と調整を行っていく。
- ・今回の課題等を整理し、他大学や他の事業者との協働による実施も検討していきたい。
- ・市民に対しては引き続き、広くリユースの啓発を行っていく。

回収物品点検表

この商品は、平成____年____月____日に、_____が点検いたしました。

製造事業者などによる自主回収品又は法律に基づく回収命令品でないか(リコール品ではないか)。

外観検査を行ったか。

- 変形(著しいキズ、破損等)がないか。
- 汚れがひどくないか。

正常作動検査を行ったか。

- 本来の正しい使い方通り、使用することができるか。

通電検査を行ったか。(電化製品のみ記入)

- 定格電圧をかけることで、当該製品が正常に作動するか。

表面のほこり、汚れをとるなどの適切な清掃をしたか。

電気用品に関して、PSE マークがついているか。



何年前に購入したか。 _____年

- 製造年から5年以内であるか。

新品であるか、リユース品であるか。(新品 ・ リユース品)

取り扱い説明書は添付されているか。 有・無

保証書は添付されているか。 有・無

全ての付属品を添付しているか。 有・無

不足品あり(不足品: _____)

中央大学 FLP 環境プログラム 佐々木創ゼミ
平成 25 年 11 月 13 日作成

環境省
不要になった家具、新入生に譲りませんか？
完全無料で引き取ります！

環境省モデル事業
八王子市とタイアップしています！

リユース市とは？
 「卒業生の不用品を新入生の必需品に」を合言葉に、1人暮らしをしている中大学生が、まだ使えるけれど不要になった生活用品を中大学生に引き渡すイベントです。
 昨年はFLP環境プログラム佐々木ゼミが八王子市と連携し、3月下旬～4月上旬に開催し、42品目を引き渡しました。今年度は環境省モデル事業に採択され、さらに規模を拡大して実施します。

2月18日(水)・28日(土)
3月3日(火)・6日(金)・9日(月)・15日(日)・18日(水)・22日(日)
 に回収予定です。ご自宅まで引き取りに伺います。

対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
 八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域。

取り扱い物品：棚、机・テーブル、テレビ台、収納ケース、CD・DVD、ゲーム、カラーボックス、楽器、スタンドミラー、イス・ソファ、衣類、小型家電（調理・暖房器具を除く）

※場合によっては扱えない物品がありますので、下記の連絡先に相談してください。

《連絡先》
 QRコードでCHECK!→ 

詳細は「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>
Twitterアカウント：
 中央大学リユース市@chuo_reuse1
 ☆随時更新中!
 ご気軽にフォローしてください☆
Mail： chuo_reuse1@yahoo.co.jp

主催：中央大学 (実施主体：FLP環境プログラム佐々木ゼミ)、**八王子市**
協力：環境省

学生ボランティア募集!!
 詳しくは、左記メールアドレス又はTwitterにご相談ください!



リユース市とは？
 昨年度からFLPの佐々木ゼミで開催をはじめ、今年は環境省のモデル事業に採択されました。八王子市、日野市、多摩市で一人暮らしをしている中大学生がまだ使えるにもかかわらず不要になった生活用品を新入生と在校生に受け渡すイベントです。今年度は、3月下旬から、4月上旬にかけて開催予定です。

中央大学
 CHUO UNIVERSITY
八王子市
環境省

不要になった生活用品
私たちが引き取ります

物品が持ち込み可能に
 前回は、3月に物品をご自宅まで引き取りに伺っていましたが、それに加え物品の持ち込みの受付を行います。
日時：12月と1月の登校日
 毎週月曜日と木曜日の昼休み
場所：6号館7号館間のベテ下(学生課、厚生課上の屋内)
 衣類や書籍など手軽に持ち運びできるものを提供したいとお考えの方は、ぜひお気軽にお越しください!

回収予定日
 回収希望の方のご自宅まで引き取りに伺います。ご希望の方は、下記のホームページにアクセスしてください。
回収予定日：1月9日 16時から
 2月上旬1回 下旬2回 3月複数回
主な対象地域：八王子市・日野市・多摩市内のC's、
 八王子市内の東中野・堀之内・大塚地域
 *2月・3月の時間は未定です
 またその他の日にち、地域はゼミ生にお尋ねください

取り扱い物品
 衣類、書籍、小型家電（調理器具、暖房器具を除く）、棚、机、収納ケース、カラーボックス、スタンドミラー、椅子など
 *場合によっては扱えない物品がありますので、ゼミ生にご相談ください

詳しくは「中央大学 リユース市」で検索
<http://reuseproject-chuo.jimdo.com/>
Twitter： 中央大学リユース市 @chuo_reuse1
Mail： chuo_reuse1@yahoo.co.jp
 八王子市連絡先：八王子市 資源循環部 ごみ総合相談センター
TEL： 042-696-5353 (直通)

主催：中央大学 (実施主体：FLP環境プログラム佐々木ゼミ) ・八王子市 **協力：環境省**